



令和4年度第2回
中国・四国ブロックエイズ治療拠点病院等連絡協議会



広島県における H I V / エイズ対策について

令和4年9月7日（水）

広島県健康福祉局新型コロナウイルス感染症対策担当
（広島県感染症・疾病管理センター）

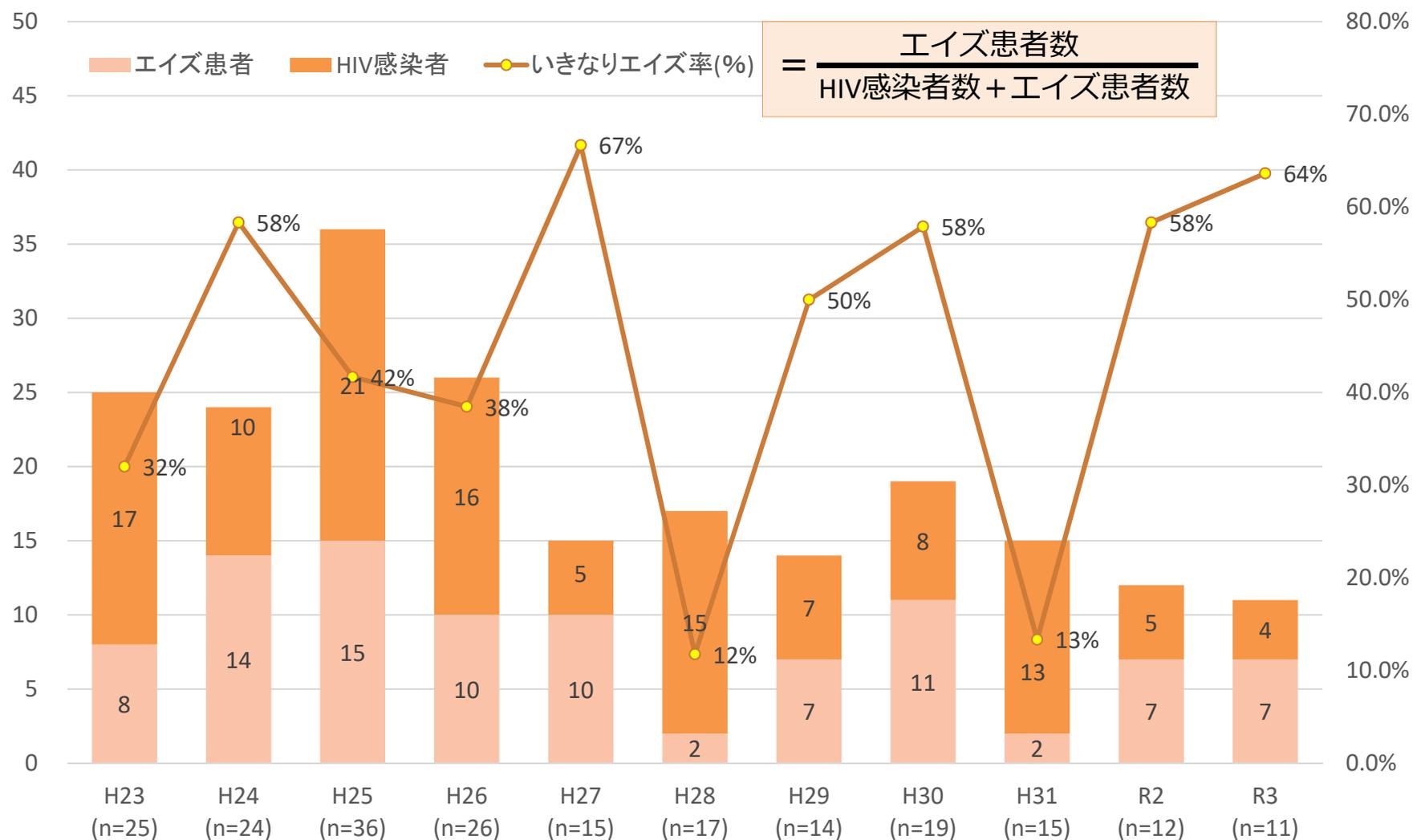
1 広島県の現状

2 長期療養が必要なHIV感染者・エイズ患者 の受け入れに関するアンケートについて

1 広島県の現状

H I V感染者・エイズ患者 新規届出数の年推移

(広島県：平成23年～令和3年)

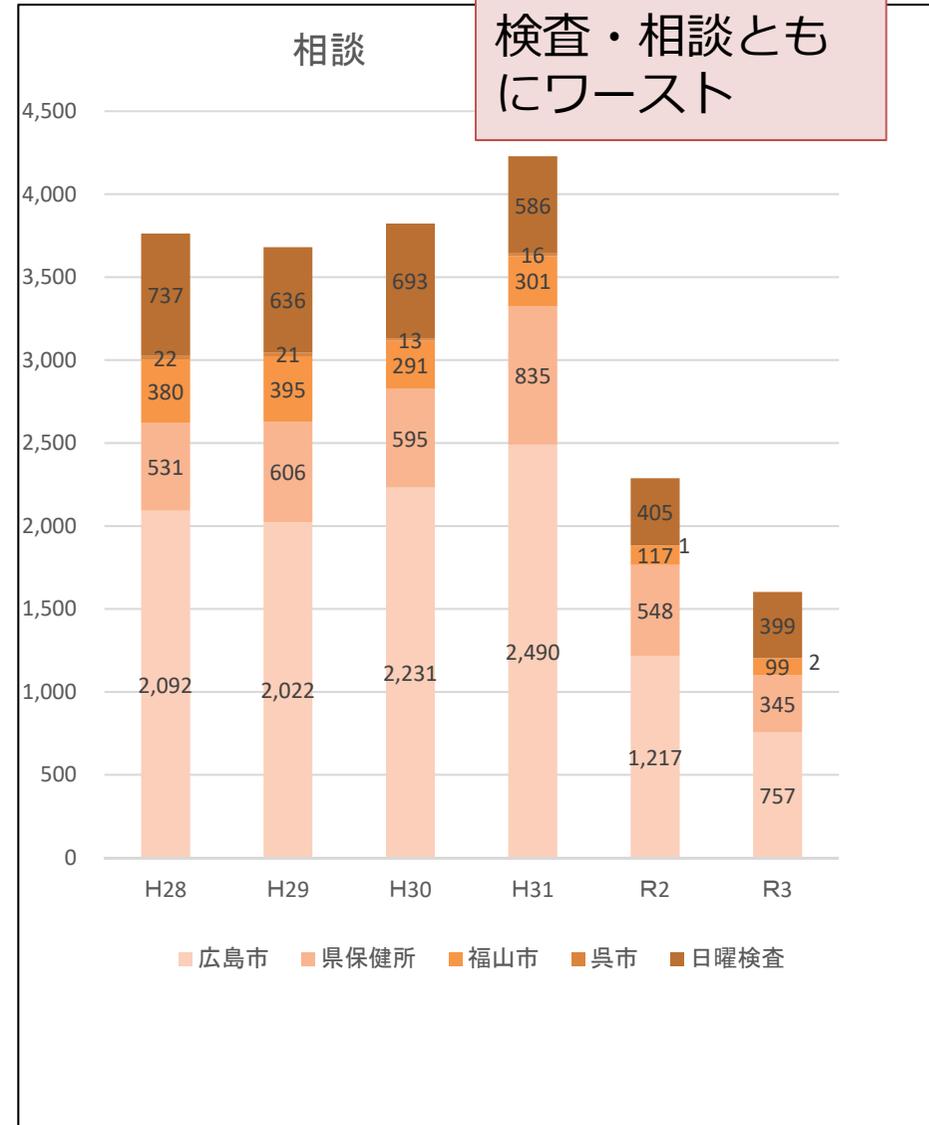
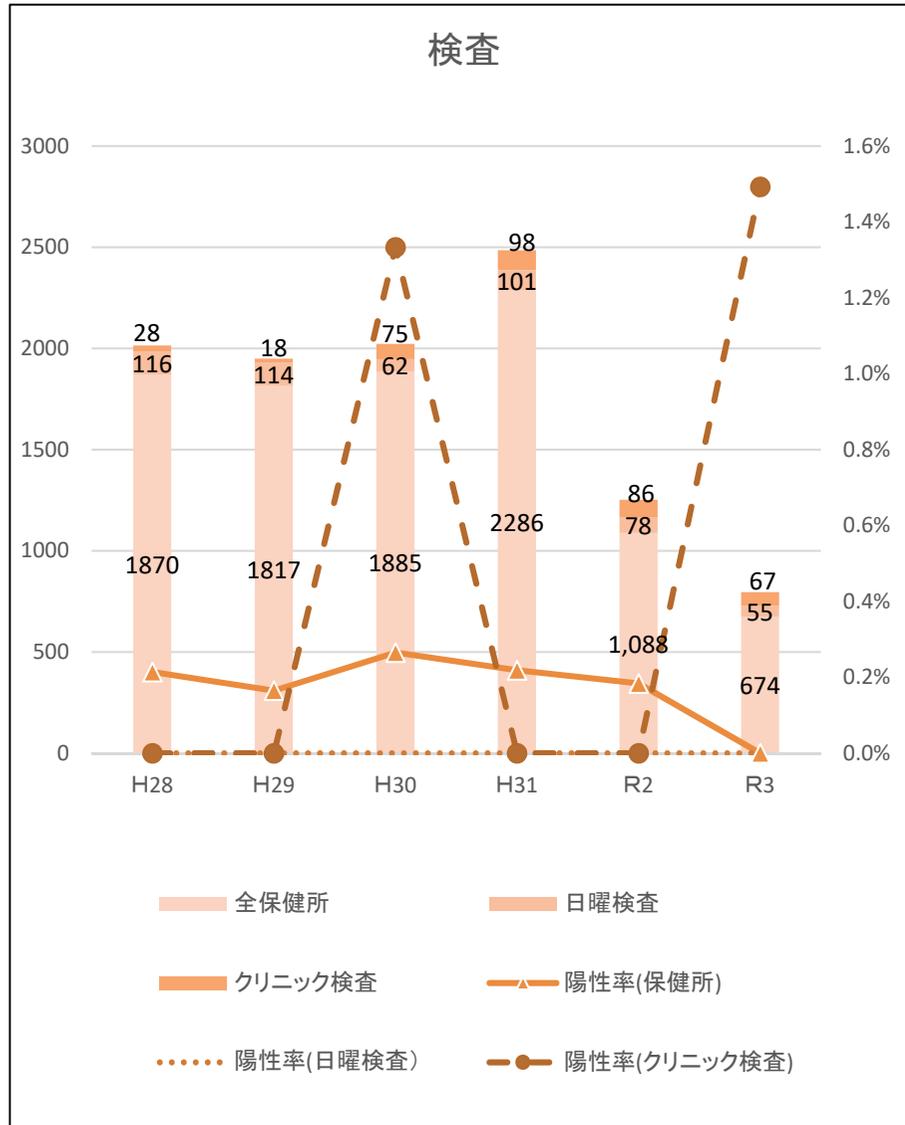


※令和3年は速報値

H I V検査・相談数の推移

(広島県：平成28年～令和3年)

R3年
検査・相談ともに
ワースト



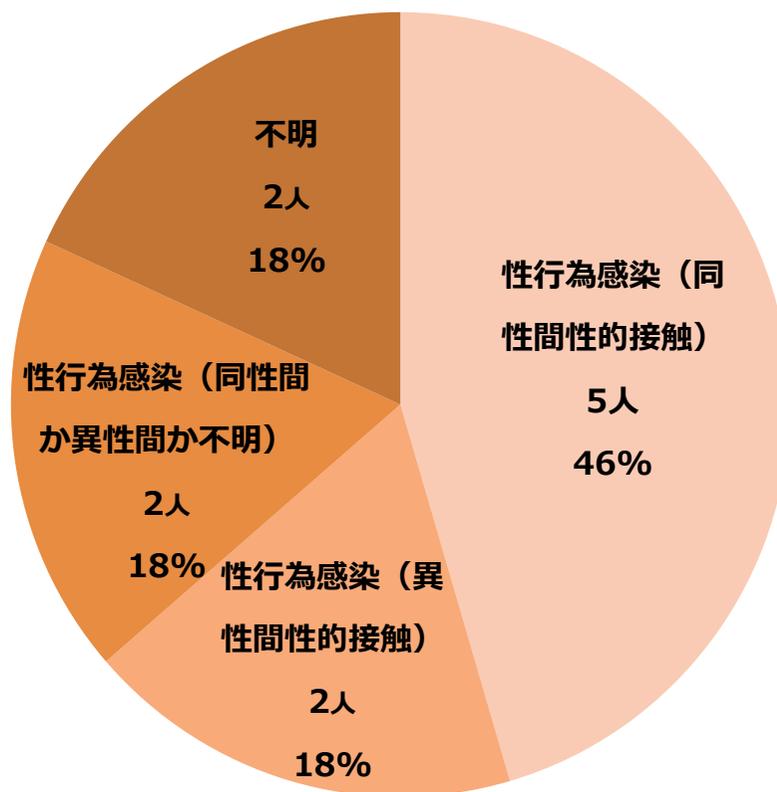
※令和3年は速報値

H I V感染者・エイズ患者 届出の内訳

広島県（令和3年：N=11）

- ・ 男性10人，女性1人
- ・ 性行為感染のうち同性間性的接触が約55%

推定感染経路別



広島県エイズ対策推進指針

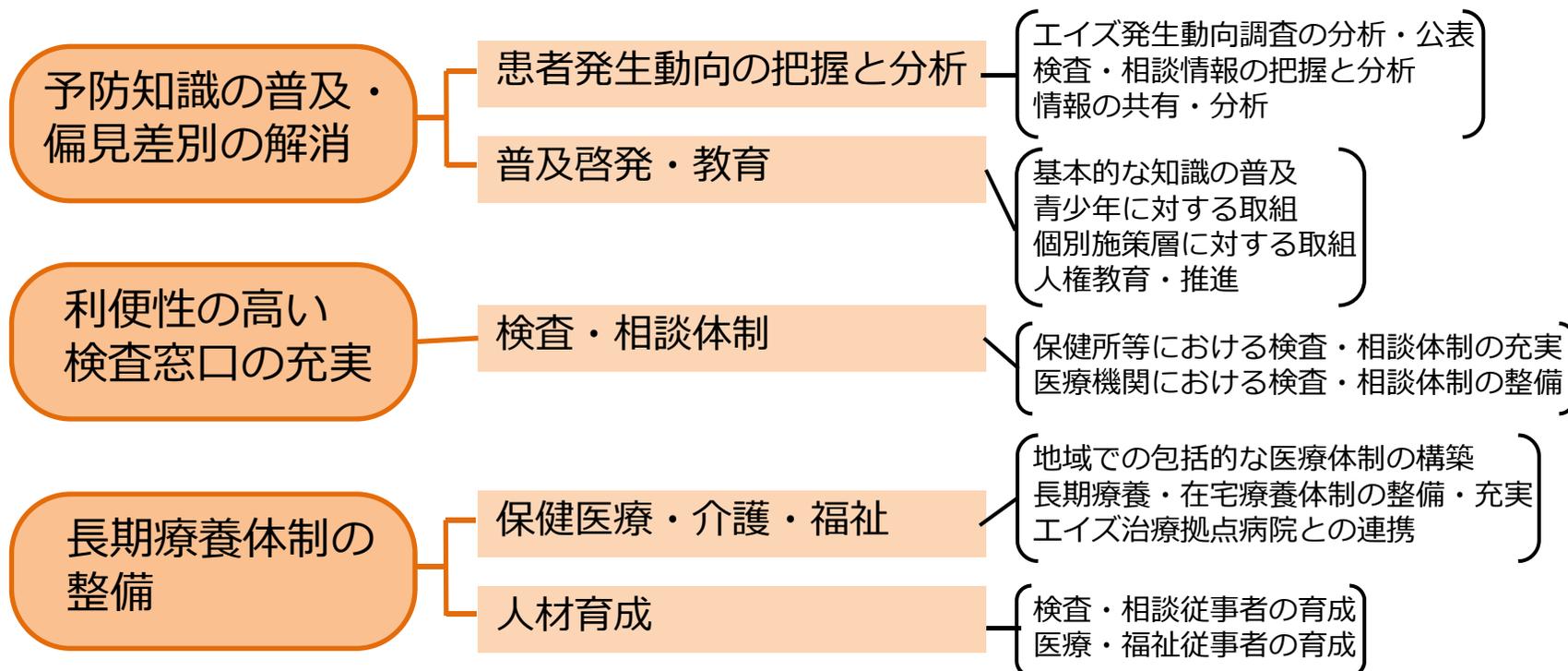
(平成30年3月策定)

基本理念	県民が、エイズについて正しく理解するとともに、安心して検査、医療・介護を受けることができる体制を構築します。
目指す姿	<ol style="list-style-type: none"> 1 県民がエイズについて正しく理解しています。 2 県民が希望する時に、安心して検査を受けることができます。 3 感染者等が尊厳を持ち、適切な医療・介護を受け安心して暮らすことができます。

【柱】

【分野】

【施策（取組）】

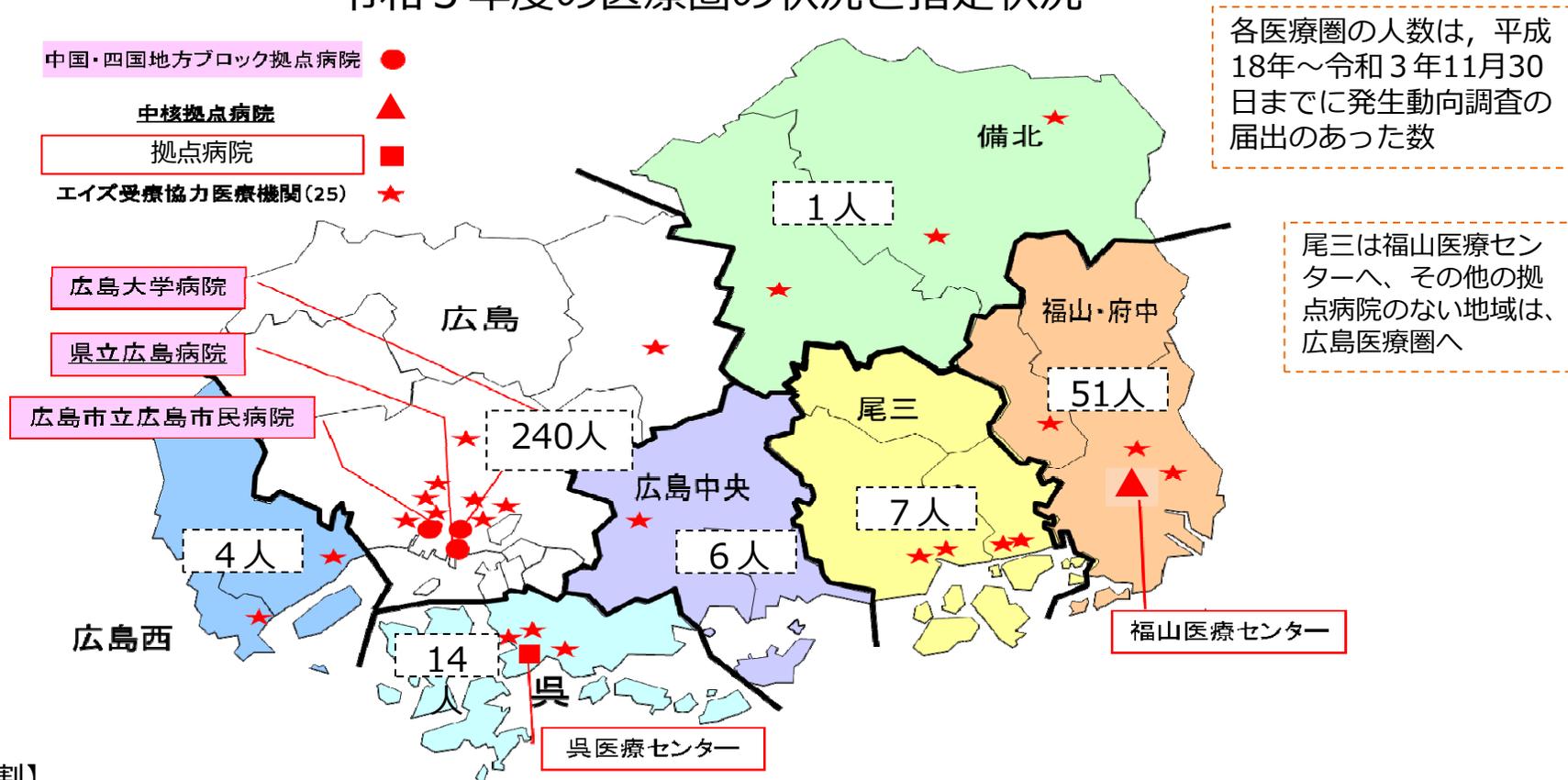


H I Vクリニック検査（平日夕方・土曜日）

概要	H I V抗体検査受検の利便性（受検可能時間帯・場所）を考慮し、県内の医療機関にH I V抗体検査を委託			
医療機関	医療機関名	住所	予約電話受付時間	検査日時
	おだ内科 クリニック	広島市 中区	9:00～12:00, 14:00～18:00 月曜日～土曜日（水・土曜日の午後、祝日を除く）	要相談
	藏本内科	広島市 中区	9:00～12:45（土曜日は～11:45）, 15:00～18:45 月曜日～土曜日（木・土曜日の午後、祝日を除く）	要相談
	医療法人 おかざき泌尿器科	東広島市	9:00～12:30（土曜日は～12:30）, 15:00～18:30 月曜日～土曜日（木・土曜日の午後、祝日を除く）	要相談
	みやの 耳鼻咽喉科	尾道市	9:00～12:30（土曜日は～12:00）, 14:30～18:00 月曜日～土曜日（木・土曜日の午後、祝日を除く）	要相談
	いそだ病院	福山市	9:00～12:00, 15:00～18:00 月曜日～土曜日（木・土曜日の午後、祝日を除く）	要相談
	セントラル 病院	福山市	9:00～12:00, 14:00～17:30 （土曜日の午後、祝日を除く）	要相談
検査対象者	H I Vに感染した可能性があるか、感染の不安がある者で、H I V抗体検査を受けることを希望する県民。ただし、匿名。			
検査内容	血液検査によるスクリーニング検査（H I V-1抗体及びH I V-2抗体検査） ①予約受付 ②受付・問診・採血 ⇒ H I V抗体検査 ③検査結果説明（カウンセリング） ⇒ 陽性の場合、確認検査勧奨・ブロック拠点病院等紹介			
検査費用	1,000円			

広島県のエイズ医療体制

令和3年度の医療圏の状況と指定状況



【役割】

- 拠点病院** 受療協力医療機関及び一般医療機関の連携に努め、エイズに関する総合的かつ高度な医療の提供を行う。
- 受療協力医療機関** 拠点病院及び一般医療機関との連携に努め、保健所検査陽性者や一般医療機関から紹介のあった対応困難患者を可能な限り受け入れる。
- 一般診療所** 原則、エイズ相談、検査、診療に応じ、受療協力医療機関等と連携し、可能な治療を行い、困難な患者については、受療協力医療機関等を紹介する。

広島県の現状まとめ

- 1 令和3年は、いきなりエイズ率が63.6%と近年増加傾向にある。
また、検査件数は796件、相談件数は1602件と過去最低の件数となった。
感染の不安のある方が相談・検査へ適切にアクセスできていないことが、いきなりエイズ率を上昇させていると考えられる。
- 2 本県では、広島県エイズ医療ネットワークを構築しており、5拠点病院が中心的な役割を担う他、県が選定している受療協力医療機関25病院と連携し、エイズ診療の円滑な運営を図っている。
また、クリニック検査を医療機関に委託し実施することで、検査機会の提供を図っている。
- 3 年に5回エイズ医療水準の向上を図るためにブロック拠点病院等の診療担当者等による情報交換及び症例検討等を実施している。
また、協議会や講習会の参加を広く一般診療所にも呼び掛けており、医療関係者の有機的連携を図っている。
- 4 拠点病院、医師会、介護関係団体、NPO、行政等で構成している広島県エイズ対策推進会議を毎年度開催し、広島県エイズ対策推進指針の施策の進捗状況を共有するとともに検証している。

2 長期療養が必要なHIV感染者・エイズ患者の 受け入れに関するアンケートについて

調査の概要

1 目的

高齢者施設でのHIV感染者等の受け入れの実態を把握し、施設への啓発に資する。

2 対象

1, 2, 3, 7 施設（県内の入所系高齢者施設）

3 調査方法

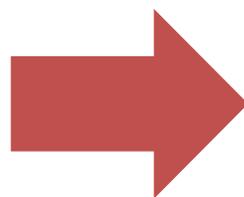
県内入所系高齢者施設にアンケートを送付,
県ホームページのアンケートフォームによる回答

4 調査期間

令和4年7月14日～8月17日

5 有効回答数

227施設（18.4%）



施設所在地

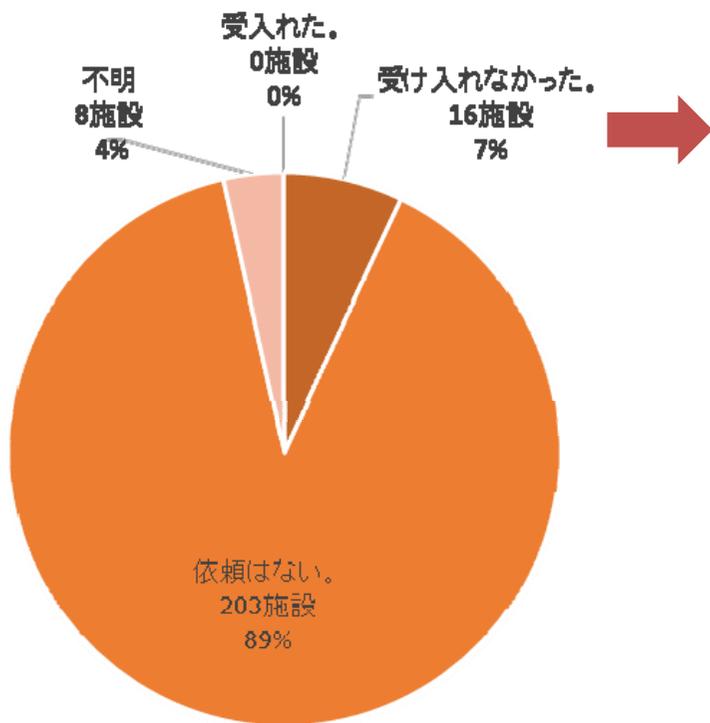
所在地	施設数	割合
広島市	106	46.7%
福山市	45	19.8%
呉市・江田島市	21	9.3%
三原市・尾道市・世羅町	21	9.3%
三次市・庄原市	11	4.8%
東広島市・竹原市・大崎上島町	9	4.0%
廿日市市・大竹市	5	2.2%
府中町・海田町・熊野町・坂町	4	1.8%
府中市・神石高原町	4	1.8%
安芸高田市・安芸太田町・北広島町	1	0.4%

施設所の種別

種別	施設数	割合
介護老人福祉施設	65	28.6%
有料老人ホーム	53	23.3%
介護老人保健施設	29	12.8%
軽費老人ホーム	10	4.4%
養護老人ホーム	6	2.6%
その他	64	28.2%

HIV感染者の受け入れについて

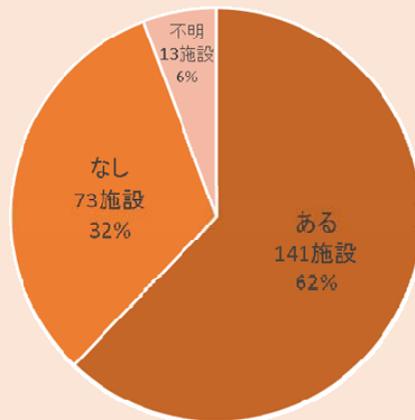
過去10年間のHIV感染者の受け入れ状況



受け入れなかった理由（複数回答）

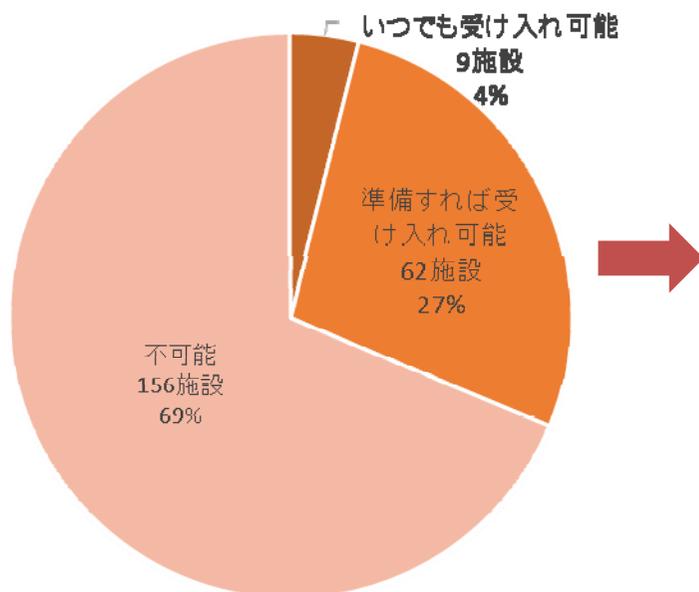
受け入れ経験がない	16	41.0%
医療機関のサポート環境	5	12.8%
HIV/エイズについての知識が乏しい	4	10.3%
職員の感染リスク補償のことが障害になっている	4	10.3%
イメージとしてHIV/エイズに対して漠然とした不安がある	3	7.7%
HIV/エイズ治療を受けている人は経営上受け入れ困難	2	5.1%
風評被害の懸念	2	5.1%
感染症患者を受け入れていない	1	2.6%
職員の同意が得られない	1	2.6%
施設間の連携不足	1	2.6%

HBV（B型肝炎） HCV（C型肝炎） 受け入れ状況



HIV感染者の受け入れについて

HIV感染者の受け入れ体制



受け入れにあたり必要な事項（複数回答）

HIVの基本的な情報提供	52	9.3%
患者が急変した時の相談・支援	42	7.5%
感染不安に対するケア	40	7.1%
HIVに特化した感染予防対策	39	7.0%
受け入れマニュアルの整備	37	6.6%
エイズ拠点病院との連携	36	6.4%
近隣の病院との連携	33	5.9%
スタッフへの研修時の講師派遣	33	5.9%
一般的な感染予防対策	32	5.7%
ウイルス等への職業暴露時の対応についての相談・支援	31	5.5%
施設方針の整備	27	4.8%
秘密保持の徹底	26	4.6%
暴露後の予防薬の配置	25	4.5%
同僚・上司の理解	23	4.1%
照会元の施設との連携	22	3.9%
医療・福祉制度利用に関する情報提供・支援	22	3.9%
利用者の服薬管理についての情報提供・支援	22	3.9%
HIVカウンセラーの派遣	14	2.5%
その他	5	0.9%

行政に対する要望事項（複数回答）

HIV感染者急変時に対応可能な医療機関一覧の提供	48	26.7%
HIV(基礎知識, 感染対策, 医療・福祉制度等)に関する職員への研修会	47	26.1%
職員のHIVウイルス暴露時の緊急対応	44	24.4%
職員の感染不安に対する相談窓口の設置	39	21.7%
その他	2	1.1%



- ・職員教育, 受入設備, 環境整備のための補助が必要。
- ・定期的な訪問や連絡で施設の不安軽減やアドバイスなど。担当の窓口があれば相談しやすい。

長期療養アンケートまとめ

- 1 約10年前に行われた同様の調査では、「受け入れ不可施設」が約75%であったが、今回の調査では約70%と同様の水準であり、受け入れが進んでいないことがうかがえる。
- 2 約30%の施設は、準備すれば受け入れ可能と回答しており、まずはこういった施設の課題を解決し受け入れ可能施設にしていくことが重要である。
- 3 「受け入れ可能」とした施設が71施設（31%）であったが、受け入れ状況では、「受け入れ」が0施設、「断った」が16施設、「依頼なし」が203施設とミスマッチが発生している。
受け入れ可能施設の一覧を共有するなど対策が必要であると考えられる。
- 4 受け入れ不可の理由として、知識不足がもとになっているものが多く挙げがっていたため、情報発信と研修等の機会の提供を行っていく必要がある。
本県としては、ブロック拠点病院、中核拠点病院において実施している介護施設への出前講座、医療機関での実地研修等を積極的に周知していく。

お知らせ

令和4年度 感染症講習会

～世界で感染拡大するサル痘，国内で感染拡大している梅毒～

日時：令和4年10月6日（木）19：00～21：00

場所：広島県医師会館 ホール（WEB併用）

- 1 開会あいさつ
- 2 講演Ⅰ 欧州を中心に報告が相次ぐサル痘について
札幌市保健所 医療政策担当部長 西條 政幸
- 3 講演Ⅱ 梅毒の感染拡大とH I Vについて
広島大学病院 エイズ医療対策室長 藤井 輝久
- 4 ディスカッション
- 5 閉 会



御清聴ありがとうございました。